

Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

テクノスマート (6246)

2026年3月期
第2四半期決算説明資料



<https://www.technosmart.co.jp/>

2026年3月期第2四半期決算概要

ディスプレイ関連塗工機器が大きく伸びたため、前年同期比で大幅な増収増益
受注残高は消化が進み前年同期比で大きく減少も、受注高はエネルギー関連塗工機器以外は堅調で前年比で増加

	25年3月期 2Q 実績	26年3月期 2Q 実績	対前年同期 増減率	26年3月期 通期予想	対計画 進捗率
(百万円)					
受注高	5,821	8,176	40.5%		
売上高	7,533	12,547	66.6%	20,000	62.7%
営業利益	1,462	2,386	63.2%	3,000	79.6%
営業利益率	19.4%	19.0%			
経常利益	1,489	2,395	60.9%	3,000	79.9%
純利益	992	1,522	53.4%	2,000	76.1%
受注残高	30,137	19,913	△33.9%		

2026年3月期 第2四半期 概況

- ✓ 第1四半期から継続し、ディスプレイ関連塗工機器の売上高が大きく伸び、第2四半期の売上高としては、**過去最高値**を記録
- ✓ 受注残高は消化が進んだが、**ディスプレイ関連塗工機器や機能性フィルム関連塗工機器の案件**は数多くあり、積極的な営業活動で受注を獲得できた
- ✓ リチウムイオン電池関連等エネルギー関連塗工機器は、EV需要の鈍化で設備投資の延期や見直しがみられ、今後2～3年は調整局面が続くと認識しているものの、**中長期的な成長**を見込む

1

会社概要

2

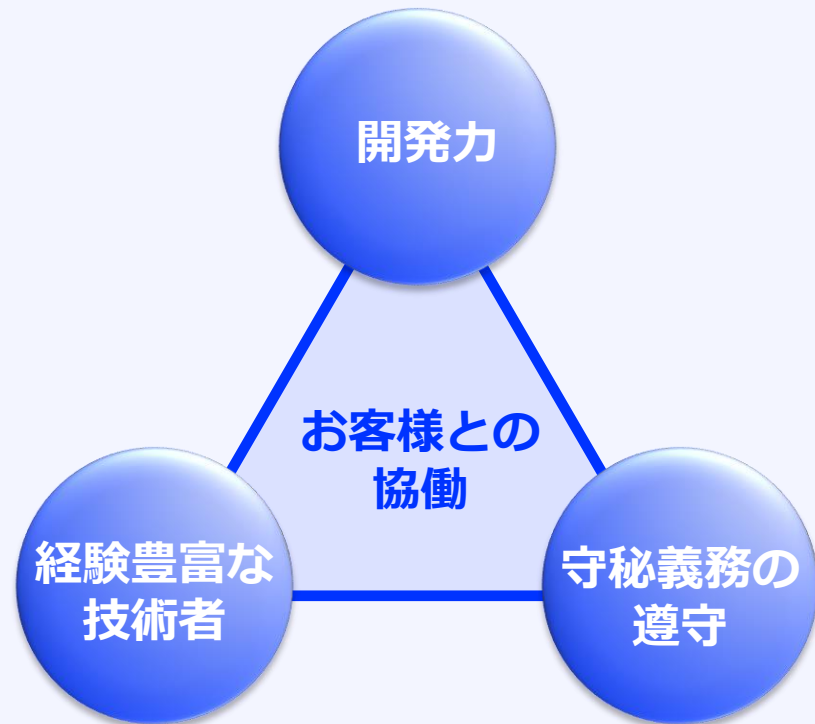
2026年3月期第2四半期実績

3

Appendix

常にお客様を第一とし
ベストソリューションを提供し続ける
コーティング・乾燥技術のプロ集団

「こんな商品を！」の声に応える新商品開発サポート



豊富な経験と先端の知識を備え
お客様のコミュニケーションを
基点に動く技術者集団

万全なお客様機密情報の保護

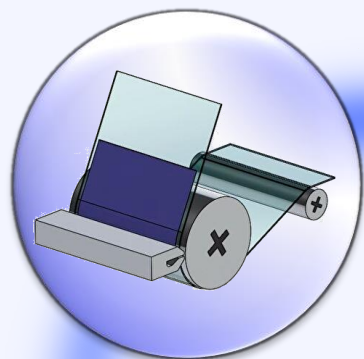
会社名	株式会社テクノスマート (Techno Smart Corp.)
事業内容	各種産業向け塗工・乾燥装置の製造・販売
創業	1912年6月15日
資本金	19億5,393万円
所在地	〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町2丁目5-28 久太郎町恒和ビル2階
従業員数	254名 (2025年9月末時点)
生産拠点	【滋賀事業所】滋賀県野洲市大篠原3200番地

▼滋賀事業所

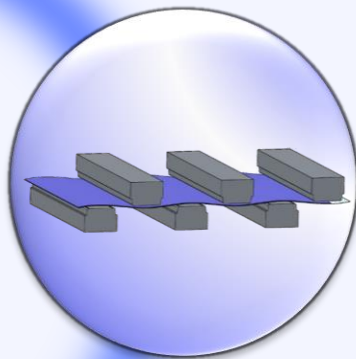


モノ作りにおける「塗る」「乾かす」「巻き出す・巻き取る」に対するベストソリューションの提供

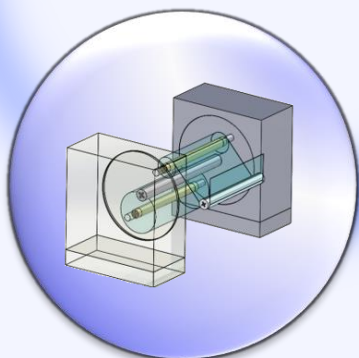
塗工プロセスに必要な要素全てを自社製品でカバー



塗る



乾かす



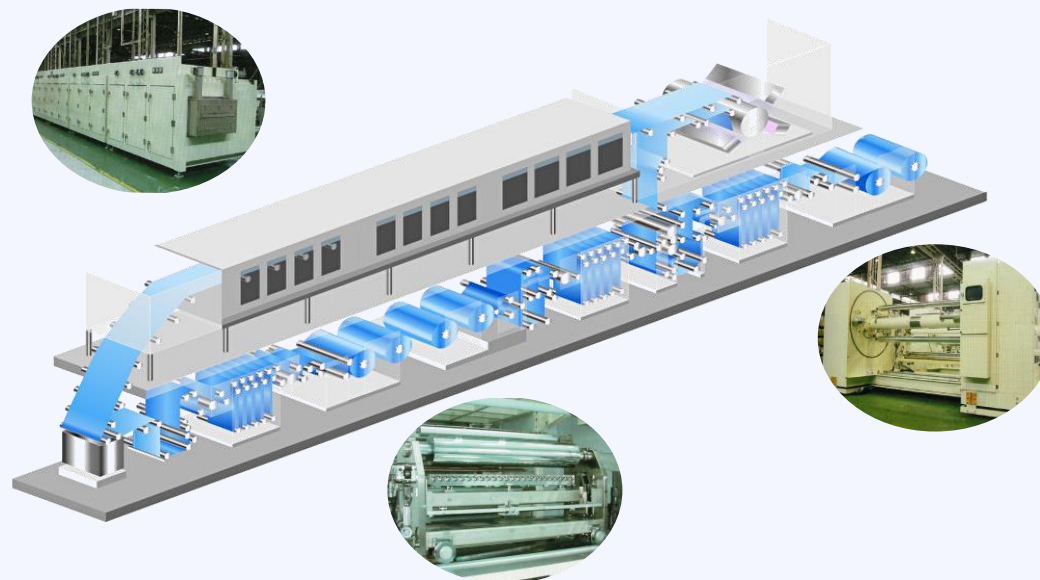
巻き出す・巻き取る

顧客のニーズに合わせた最適な生産ラインを提案・構築

使用する材料

ラインの
生産性

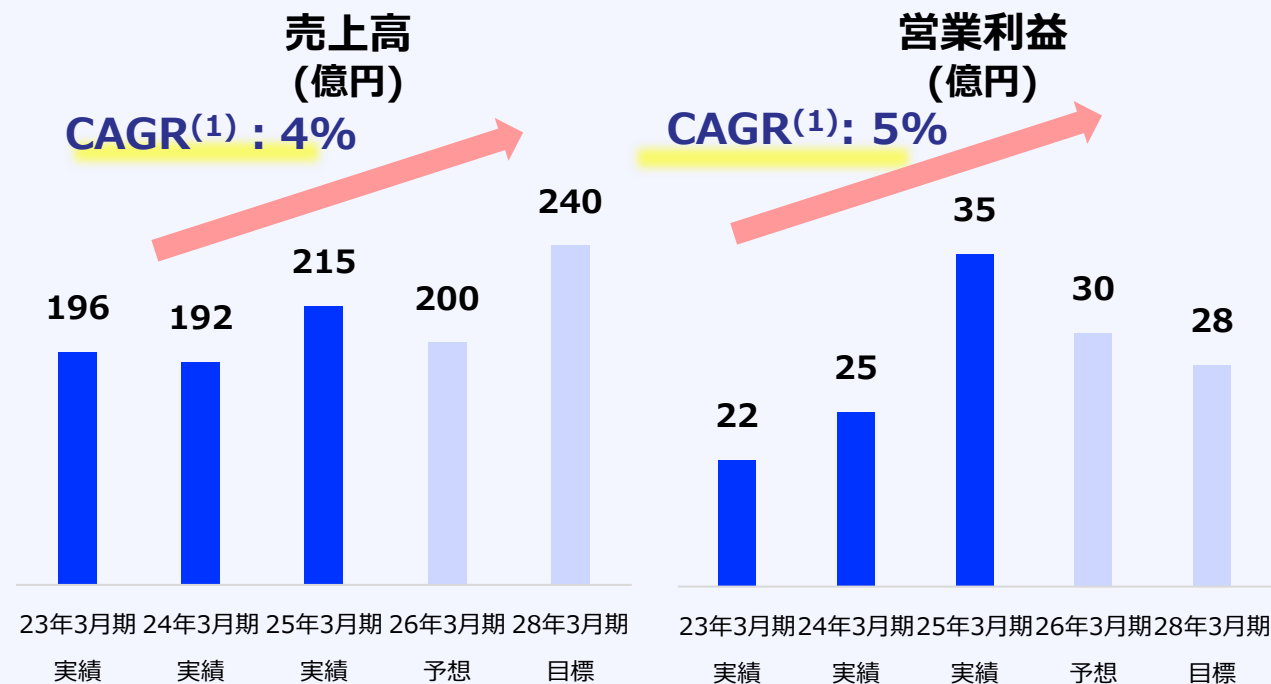
コーティング
の精度



塗工プロセスで要求される様々な要素を
最大限に満たす生産ラインを設計・構築

事業基盤の強化に取り組むと同時に、長期的な成長に向け二次電池市場に向けた展開を強化
また、企業価値創出の重要指標としてROEを含めた目標数値を設定し、財務戦略の見直しを図る

目標	主要施策
① 車載用二次電池市場向けを中心に、エネルギー領域での成長を加速	✓ Dürr社 (独) との提携を通じた欧州展開強化
② 納期の長期化の解消と技術力強化を通じた競争力の向上	✓ 設計者の採用強化 ✓ 生産・研究開発投資の拡大
③ 新市場開拓を目指した海外戦略の強化	✓ 海外訪問強化 ✓ 営業人材の採用強化 ✓ アフターサービス拡充
④ 資本効率の向上	✓ 財務戦略の見直しによるROEの改善



ROE目標

23年3月期実績 **8.9%**

28年3月期以降 **10%以上**

(1) Compound Annual Growth Rate (年平均成長率)。23年3月期実績および28年3月期目標に基づく

1

会社概要

2

2026年3月期第2四半期実績

3

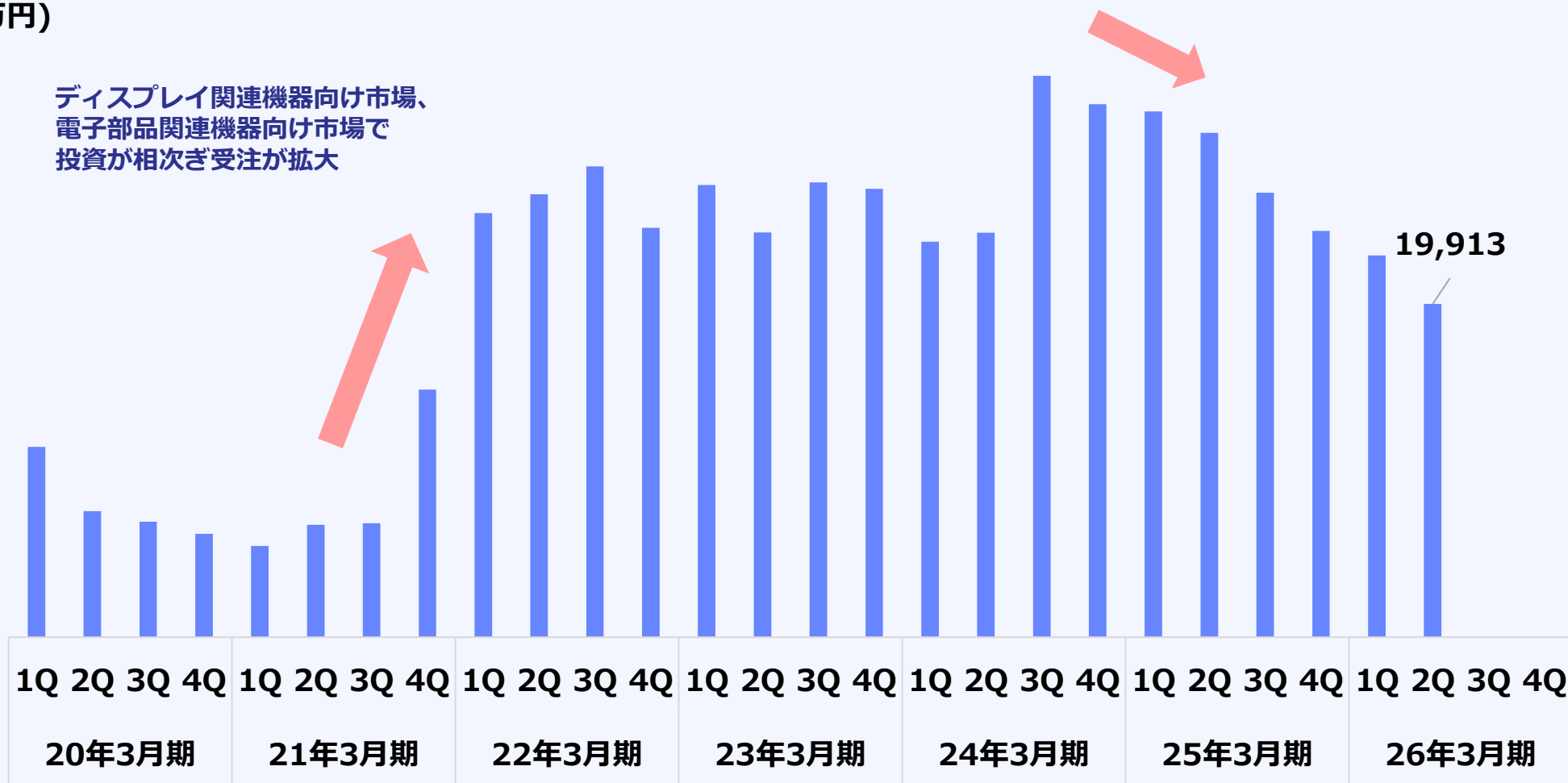
Appendix

受注額は前年同期比で大幅に増加したものの、それ以上に売上進捗があり受注残高は減少。
ディスプレイや機能性フィルム関連塗工機器の市況は堅調で、顧客希望納期を意識して受注獲得に注力する。

受注残高
(百万円)

ディスプレイ関連機器向け市場、
電子部品関連機器向け市場で
投資が相次ぎ受注が拡大

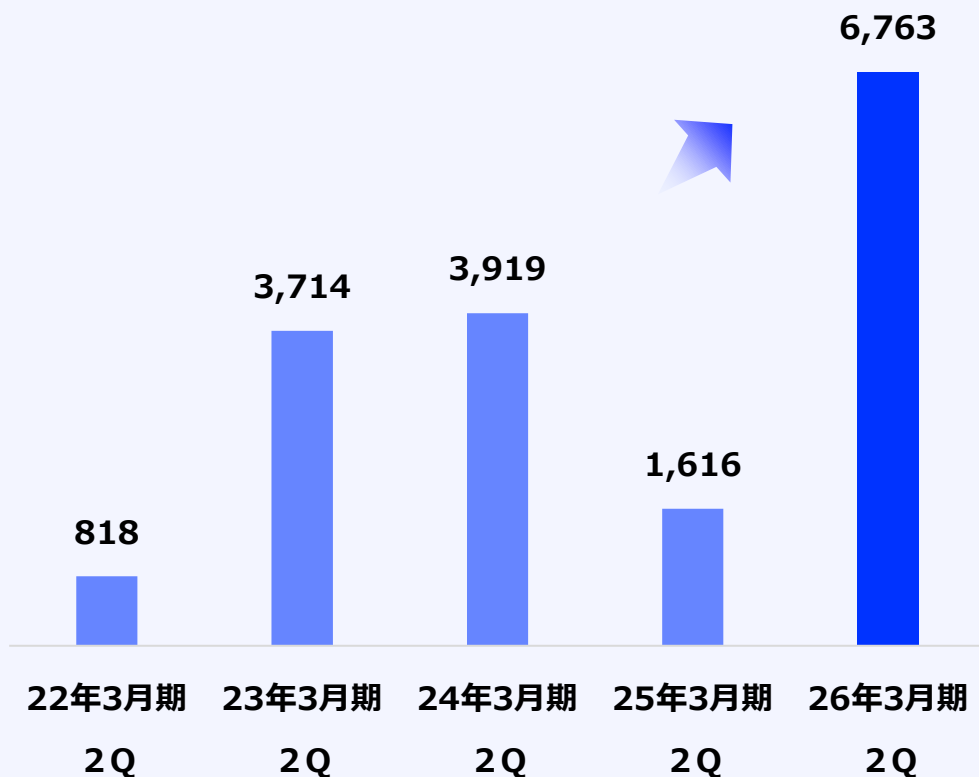
EV市場の鈍化



ディスプレイ関連塗工機器は、前々期に受注した超大型案件の進捗が伸び、前期比で大幅増。足元でも受注に向けた案件が複数あり、需要はしばらく続く見通し。

ディスプレイ関連塗工機器売上高
(百万円)

前年比 +318.5%



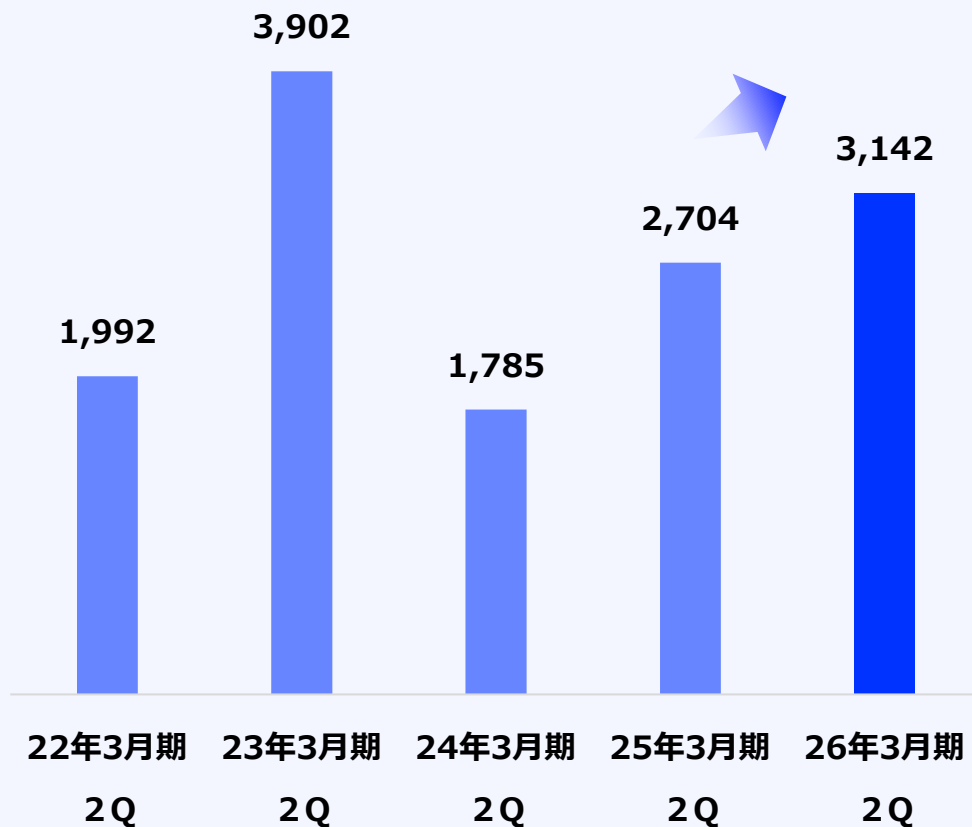
2026年3月期 見通し

- ✓ 2024年3月期に受注した超大型案件の進捗が伸びたため、前年比+318.5%と著しく増加
- ✓ ディ스플레이関連塗工機器領域では**広幅な塗工装置の需要**が大きく、日本メーカーの競争力は引き続き維持できる想定
- ✓ 足元の動向を踏まえると光学広幅案件などがあり、しばらくは**国内・海外ともに需要が高い状況が継続する**見込み

機能性フィルム関連塗工機器は売上高・受注高とも前年同期比で伸長。
多岐にわたる分野で活用されており、今後も市場は堅調に拡大していく見込み。

機能性フィルム関連塗工機器売上高
(百万円)

前年比 +16.2%



2026年3月期 見通し

- ✓ MLCCの製造工程で使用するフィルム装置や粘着剤塗工乾燥装置を中心に、売上は前年比+16.2%と増加
- ✓ 機能性フィルムは、**底堅い需要があり、市況も良くなってきており**、今後も緩やかではあるが伸びが期待できる

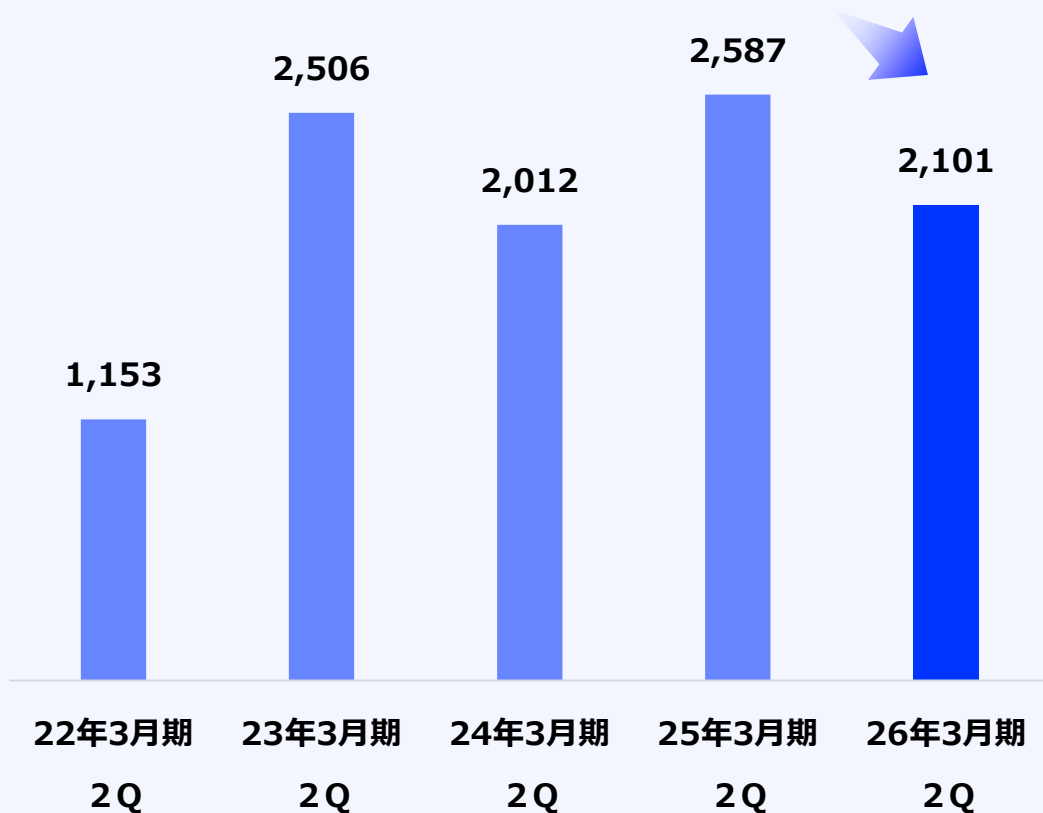
EV市場は依然として需要拡大が鈍化しており、顧客の発注時期も不透明なため、回復基調とは言えない状態が続く。
しかしながら期待の大きな商材があるため、将来的には高成長を見込む。

エネルギー関連塗工機器売上高
(百万円)

前年比 $\triangle 18.8\%$

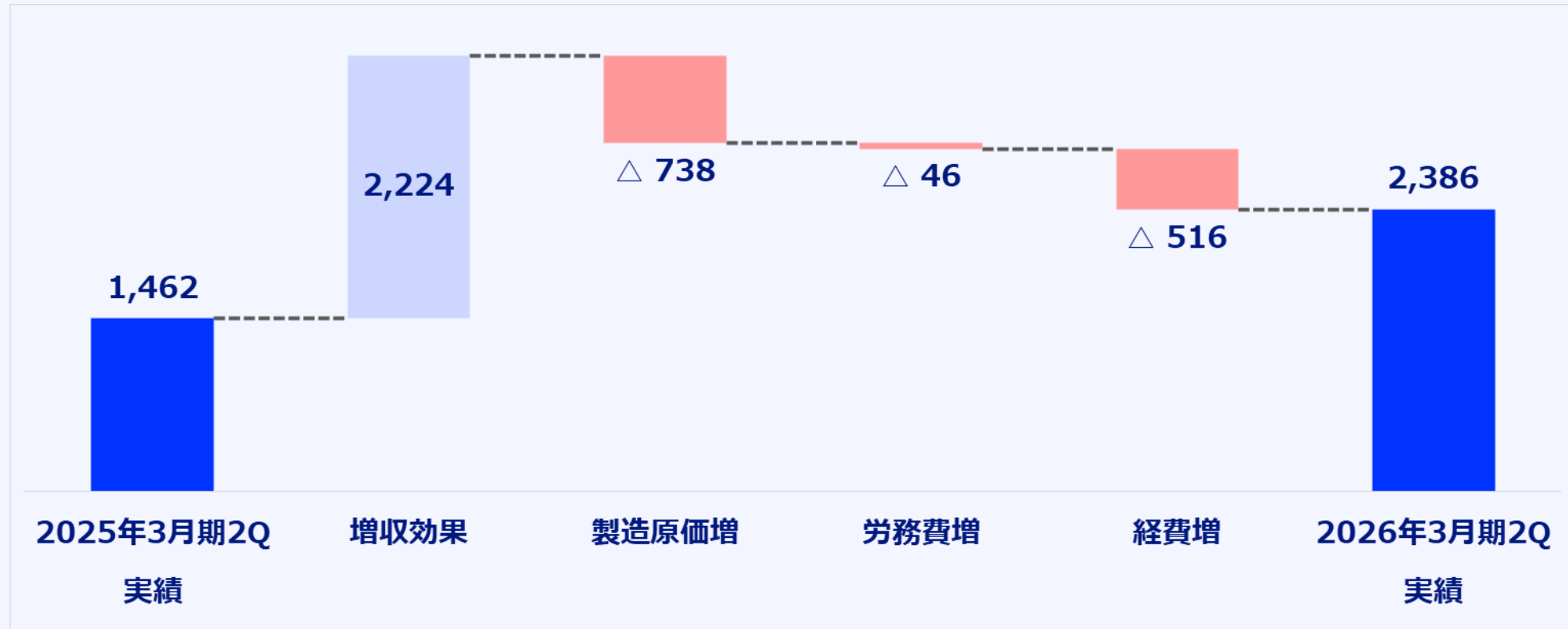
2026年3月期 見通し

- ✓ 世界的なEV市場の鈍化を受け、一部顧客では設備投資延期や様子見の動きが2～3年は続くと考えられる
- ✓ 注視すべき商材として、**全固体電池**や**ペロブスカイト太陽電池**があり、取組みを強化する



増収効果が大きく伸び、前年同期比で増益を実現できた。

(百万円)



Appendix

1912年に創業。繊維産業向け乾燥機のエロフィンチューブの開発以来、様々な業界の塗工・乾燥のプロセスに関するソリューションを手掛ける

売上高の推移
(百万円)

1912年
井上鉄工所として創設

1929年～
繊維産業で使われていた乾燥機用のエロフィンチューブの製法を開発(国内初)
やがて完成品も手掛け始め、国内屈指の熱交換器のメーカーへ

1968年～
海外企業との技術・業務提携を通し最先端の塗工・乾燥技術を導入・蓄積
繊維産業以外の様々な業界へ

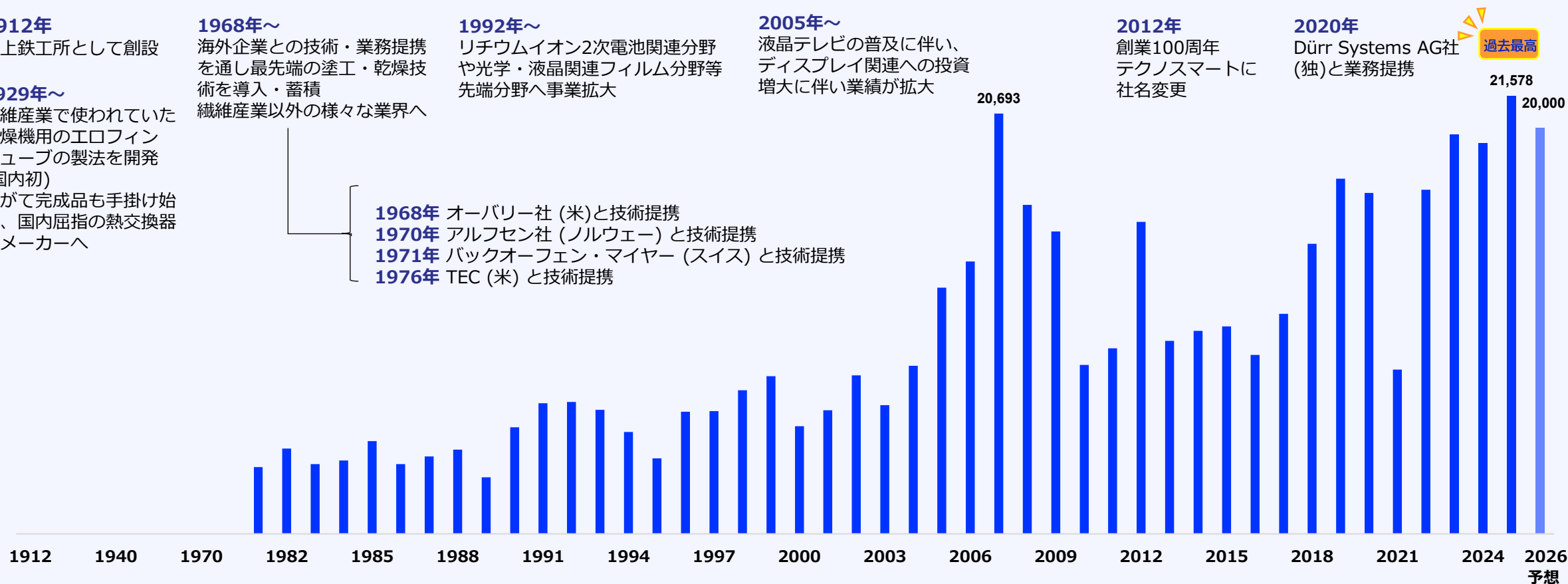
1992年～
リチウムイオン2次電池関連分野や光学・液晶関連フィルム分野等先端分野へ事業拡大

2005年～
液晶テレビの普及に伴い、ディスプレイ関連への投資増大に伴い業績が拡大

2012年
創業100周年
テクノスマートに社名変更

2020年
Dürr Systems AG社(独)と業務提携

1968年 オーバリー社(米)と技術提携
1970年 アルフセン社(ノルウェー)と技術提携
1971年 バックオーフェン・マイヤー(スイス)と技術提携
1976年 TEC(米)と技術提携



現在はディスプレイ関連、機能性フィルム関連、エネルギー関連で9割超を占める

① ディスプレイ関連塗工機器

液晶用表示装置に代表される光学用途フィルム
塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置



顧客製品：
偏光フィルム、ARフィルム 等

関連製品・最終製品：
液晶テレビ、スマートフォン 等

② 機能性フィルム関連塗工機器

一般産業資材用のフィルム用塗工装置及び
関連する乾燥・熱処理装置

顧客製品：
離形フィルム等

関連製品・最終製品：
MLCC 等



③ 電子部品関連塗工機器

半導体、FPC等電子部品関連用塗工装置
及び関連する乾燥・熱処理装置



顧客製品：
FPC 等

関連製品・最終製品：
スマートフォン 等

④ エネルギー関連塗工機器

二次電池用塗工装置及び関連する乾燥・熱処理装置
また、塗工機以外の二次電池用製造装置及び関連機器

顧客製品：
LIB、太陽電池 等

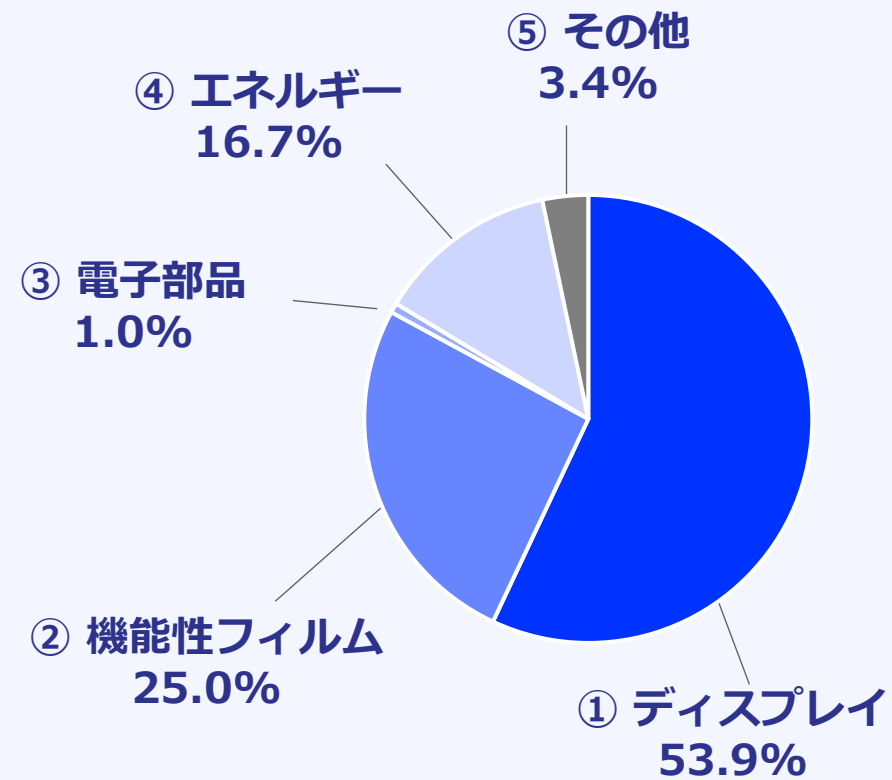
関連製品・最終製品：
スマートフォン、EV 等



⑤ その他

各種関連機器の部品製造・改造・修理

製品セグメント別売上高構成比
(2026年3月期2Qベース)



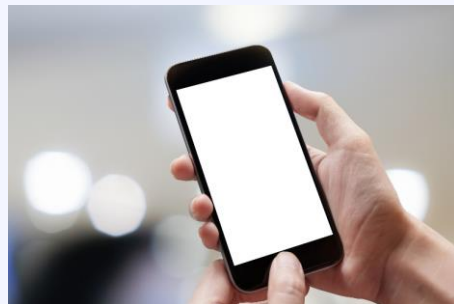
テクノスマートの機械で作られる最終製品

Techno Smart

生活に欠かせない様々なものの製造で塗工プロセスが必要とされている



液晶テレビ



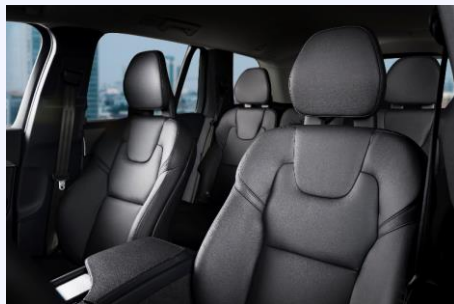
スマートフォン



太陽電池



不織布 (おむつ)



レザーシート



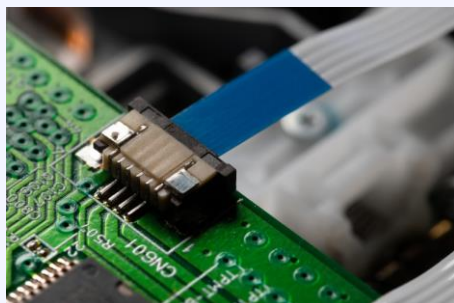
エアバッグ



車載用リチウムイオン電池



粘着テープ



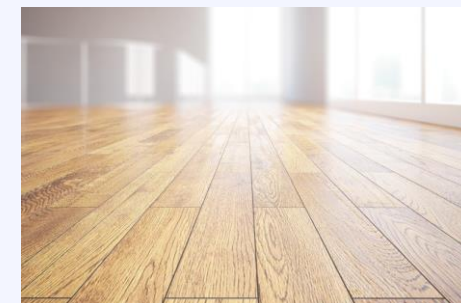
フレキシブルプリント基板



医療用経皮吸収パッチ



修正テープ



フローリング風床材

顧客第一の姿勢のもと、お客様の求める要素を全て実現し、技術に支えられた高品質なソリューションと永続的なアフターフォローを通して高い顧客満足を実現

ヒアリング・営業



お客様とのコミュニケーションを通じて課題を発見。新商品開発や提案に繋げる

企画・設計



引き合いをいただいたお客様との打合せに基づいて下調べを行い、図面・仕様書を作成

製造・据付



お客様の工場で実際に製造ラインを据付し、試運転を重ねて求められている水準を実現

アフターフォロー



納品後も永続的なアフターフォローに取り組み、更なる顧客満足度の充実に努める

一般的なリードタイム



1～3か月/回程度の
見積もりを繰り返し
お客様の求める設計に

1年～1年半

永続的なフォロー

損益計算書（通期／中間期）

(百万円)	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期 2Q
受注高	16,067	18,553	18,666	9,179	16,771	26,603	22,017	24,288	14,013	8,176
受注残高	8,343	12,611	13,785	6,180	14,799	24,463	26,803	31,849	24,284	19,913
売上高	10,837	14,285	17,492	16,785	8,089	16,939	19,677	19,242	21,578	12,547
売上原価	9,116	12,215	14,271	12,632	6,663	14,472	16,502	15,603	16,762	9,191
売上総利益	1,721	2,070	3,220	4,153	1,425	2,466	3,174	3,638	4,816	3,356
売上総利益率	15.9%	14.5%	18.4%	24.7%	17.6%	14.6%	16.1%	18.9%	22.3%	26.7%
販売費及び一般管理費	713	807	872	1,049	585	823	941	1,050	1,303	969
営業利益	1,008	1,262	2,347	3,103	840	1,642	2,232	2,588	3,512	2,386
営業利益率	9.3%	8.8%	13.4%	18.5%	10.4%	9.7%	11.3%	13.5%	16.3%	19.0%
営業外収益	45	44	45	46	80	60	56	58	65	40
営業外費用	21	25	12	7	6	11	11	16	22	31
経常利益	1,032	1,281	2,380	3,142	914	1,692	2,277	2,630	3,555	2,395
特別利益	0	-	-	-	26	0	0	0	0	3
特別損失	5	10	15	165	20	7	2	0	0	-
税引前当期（中間期） 純利益	1,027	1,271	2,364	2,976	919	1,685	2,275	2,629	3,555	2,399
法人税等	335	380	738	942	340	521	668	825	1,164	876
当期（中間期） 純利益	692	890	1,626	2,033	579	1,164	1,607	1,804	2,390	1,522



損益計算書 (四半期)

(百万円)	24年3月期				25年3月期				26年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
受注高	1,084	5,932	15,046	2,226	2,675	3,146	2,987	5,205	5,190	2,986	
受注残高	23,630	24,178	33,553	31,849	31,432	30,137	26,559	24,284	22,820	19,913	
売上高	4,257	5,384	5,671	3,930	3,092	4,441	6,564	7,481	6,653	5,894	
売上原価	3,579	3,996	4,536	3,492	2,359	3,140	5,428	5,835	4,990	4,201	
売上総利益	678	1,387	1,136	437	733	1,300	1,137	1,646	1,663	1,693	
売上総利益率	15.9%	25.8%	20.0%	11.1%	23.7%	29.3%	17.3%	22.0%	25.0%	28.7%	
販売費及び一般管理費	233	232	234	351	327	244	304	428	270	699	
営業利益	444	1,154	901	89	405	1,057	832	1,218	1,393	993	
営業利益率	10.4%	21.4%	15.9%	2.2%	13.1%	23.8%	12.7%	16.3%	20.9%	16.8%	
経常利益	461	1,158	922	89	433	1,056	852	1,214	1,415	980	
税引前四半期純利益	461	1,158	923	87	433	1,056	852	1,214	1,415	984	
四半期純利益	312	785	630	77	291	701	568	830	959	563	

セグメント別 受注高・受注残高・売上高 (四半期) Techno Smart

(百万円)	24年3月期				25年3月期				26年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
受注高	1,084	5,933	15,045	2,226	2,675	3,146	2,987	5,205	5,190	2,986
ディスプレイ関連	136	2,125	12,212	188	646	1,177	2,346	2,424	587	2,469
機能性フィルム関連	449	204	340	842	1,121	1,584	485	159	4,073	66
エネルギー関連	52	2,638	2,326	947	615	86	-117	2,441	267	162
その他	447	966	167	249	293	299	273	181	263	289
受注残高	23,630	24,178	33,553	31,849	31,432	30,137	26,559	24,284	22,820	19,913
ディスプレイ関連	5,732	5,371	15,740	15,342	15,302	15,549	14,135	12,094	8,888	8,386
機能性フィルム関連	9,002	8,513	7,495	7,092	7,158	7,094	6,379	5,278	7,627	6,275
エネルギー関連	6,250	7,804	8,449	7,883	7,479	5,997	4,627	5,714	5,107	4,043
その他	2,646	2,490	1,869	1,532	1,493	1,497	1,418	1,198	1,198	1,208
売上高	4,257	5,384	5,671	3,930	3,092	4,441	6,564	7,481	6,653	5,894
ディスプレイ関連	1,433	2,485	1,843	587	686	930	3,760	4,466	3,793	2,970
機能性フィルム関連	1,093	692	1,358	1,245	1,056	1,648	1,199	1,260	1,724	1,418
エネルギー関連	928	1,084	1,682	1,512	1,019	1,568	1,253	1,353	874	1,227
その他	803	1,121	787	589	331	295	352	402	262	278

貸借対照表 (通期/中間期)

(百万円)	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期 2Q
総資産	18,364	19,391	24,435	22,926	22,138	29,316	27,909	29,948	32,618	37,037
流動資産	13,933	14,840	19,863	17,711	16,608	23,204	21,621	23,039	25,217	29,234
現金及び預金	5,606	5,493	6,076	6,188	10,461	10,638	9,583	9,711	6,896	6,734
売上債権	7,862	9,081	13,119	10,952	5,595	11,078	11,381	12,256	17,521	22,568
棚卸資産	265	234	252	282	185	552	535	842	518	591
固定資産	4,430	4,551	4,572	5,214	5,529	6,111	6,287	6,909	7,401	7,803
有形固定資産	3,072	2,977	3,044	3,673	3,925	4,508	4,447	4,592	5,181	5,294
総負債	7,440	6,558	9,461	6,497	5,391	11,910	9,331	10,240	12,987	16,204
流動負債	5,971	5,205	8,178	5,225	4,090	10,563	7,923	8,762	10,096	12,950
仕入債務	4,218	3,526	6,184	3,113	2,325	8,060	5,008	4,357	6,079	4,732
前受金	639	676	758	744	1,398	1,597	1,729	3,005	1,507	949
固定負債	1,468	1,352	1,283	1,272	1,300	1,347	1,407	1,477	2,891	3,254
純資産	10,923	12,832	14,974	16,428	16,747	17,405	18,577	19,707	19,631	20,832
株主資本	9,432	11,230	13,502	15,003	15,151	15,879	16,945	17,647	17,668	18,573
評価・換算差額等	1,491	1,594	1,471	1,424	1,596	1,525	1,631	2,060	1,963	2,259
有利子負債	841	547	194	82	2	-	-	-	2,000	7,166
自己資本比率	59.5%	66.1%	61.3%	71.7%	75.6%	59.4%	66.6%	65.8%	60.2%	56.2%
1株あたり純資産	1,030.9円	1,118.5円	1,208.0円	1,325.3 円	1,351.1円	1,415.6円	1,510.9円	1,599.9円	1,708.4円	1,820.9円

キャッシュ・フロー計算書

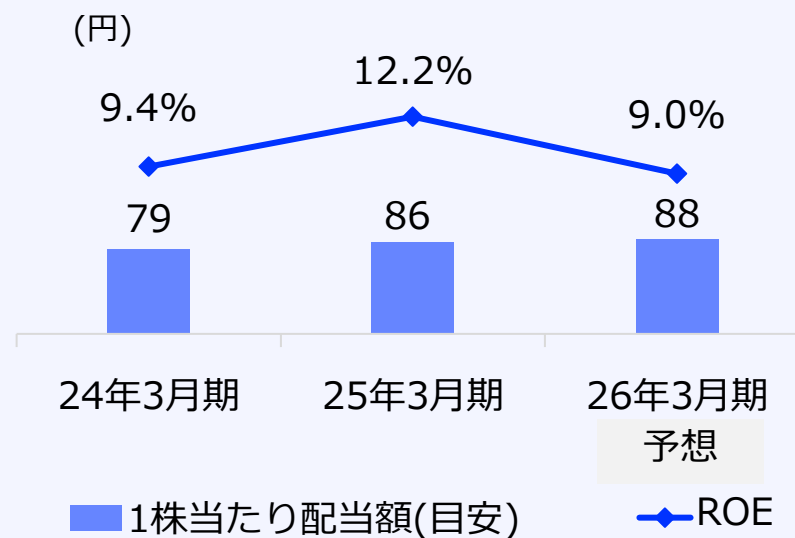
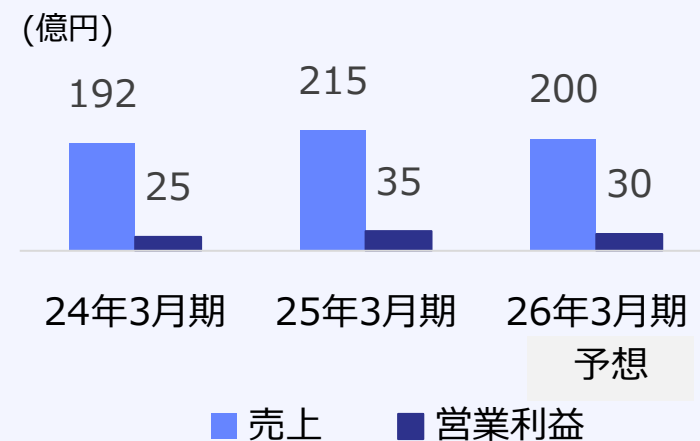
Techno Smart

(百万円)	22年3月期 2Q	23年3月期 2Q	24年3月期 2Q	25年3月期 2Q	26年3月期 2Q
営業活動による キャッシュ・フロー	△13	3,355	2,404	△194	△4,621
投資活動による キャッシュ・フロー	△392	△25	△181	△407	△92
財務活動による キャッシュ・フロー	△176	△305	△673	△1,939	4,552
現金及び現金同等物 の増減額	△582	3,024	1,548	△2,539	△161
現金及び現金同等物 の期首残高	10,361	10,538	9,483	9,611	6,896
現金及び現金同等物 の中間期末残高	9,778	13,563	11,031	7,072	6,734
(ご参考) フリー・キャッシュ・フロー	△405	3,330	2,222	△601	△4,714

フリー・キャッシュ・フロー・・・営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

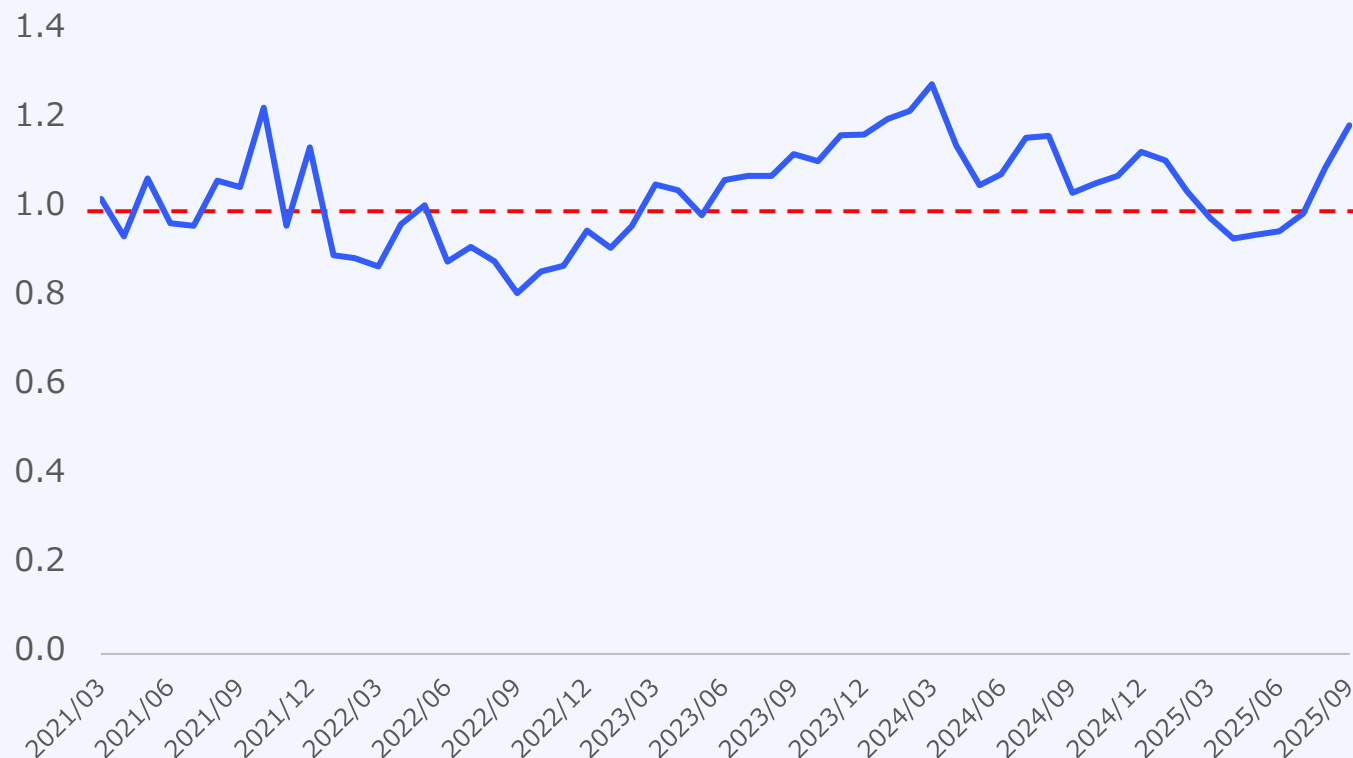
今中期経営計画における実績および予想値は以下の通り

	24年3月期 実績	25年3月期 実績	26年3月期 予想
売上高	192億円	215億円	200億円
営業利益	25億円	35億円	30億円
ROE	9.4%	12.2%	9%以上
DOE	5.1%	5.2%	5%以上
配当額	79円	86円	88円



前期末及び第1四半時点ではPBR1倍を下回ったものの、今第2四半期では改善。
引き続き企業価値の向上及び最大化に取り組み、PBRの継続的安定を図る。

2021年3月来PBR推移（倍）



当社の株主資本コスト(参考値)の前提について

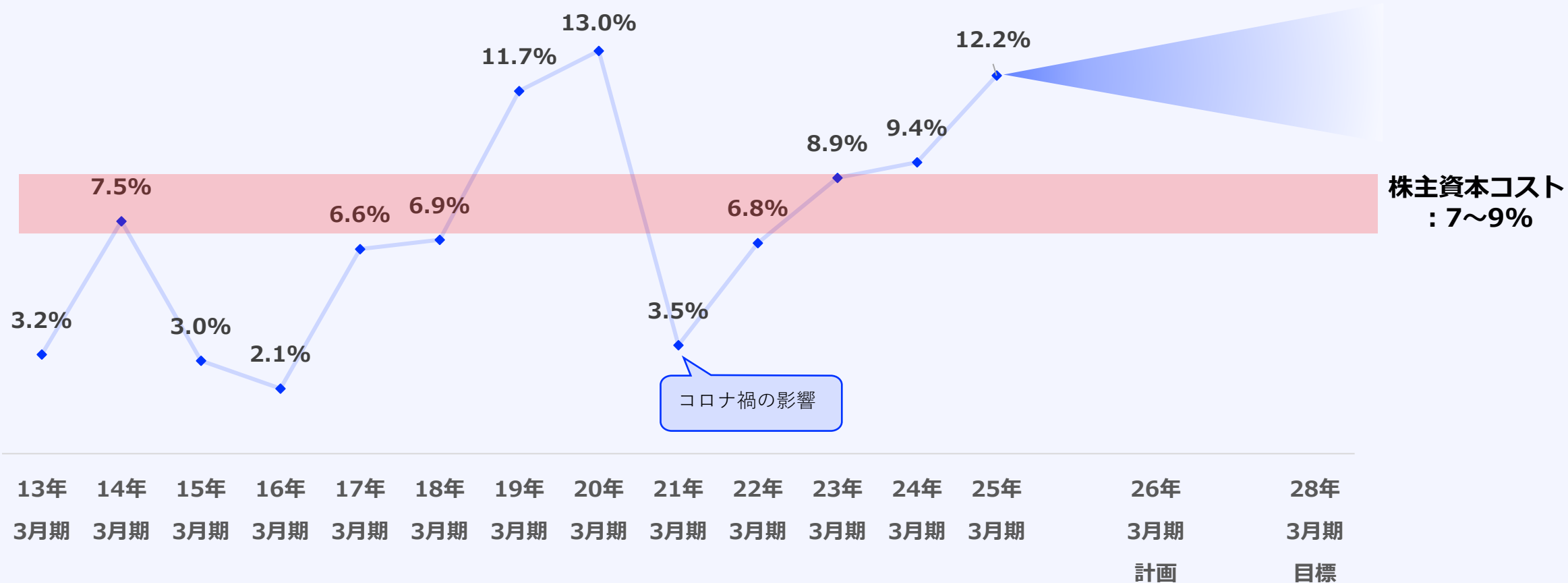
$$\begin{array}{ccccc} \boxed{\begin{array}{c} \text{リスク} \\ \text{フリーレート} \\ 0.5\% \text{程度} \end{array}} & + & \boxed{\begin{array}{c} \beta \\ 1.1 \sim 1.2 \end{array}} & \times & \boxed{\begin{array}{c} \text{市場リスク} \\ \text{プレミアム} \\ 6 \sim 7\% \end{array}} \\ & & & & \\ & = & \boxed{\begin{array}{c} \text{株主資本コスト} \\ \text{参考値} \\ 7 \sim 9\% \end{array}} \end{array}$$

- ✓ 客観的な資本コストの参考値の一つとしてCAPMを使用
- ✓ リスクフリーレートは国内の長期金利を使用
- ✓ β 値については当社の2年週次 β や同業種 $\beta^{(1)}$ を使用

ROEは大きく改善。引き続き収益性の向上とバランスシートの効率化を通し、株主資本コストを十分に上回るROEの実現を目指す

持続的に株主資本コストを上回るROE水準を目指す

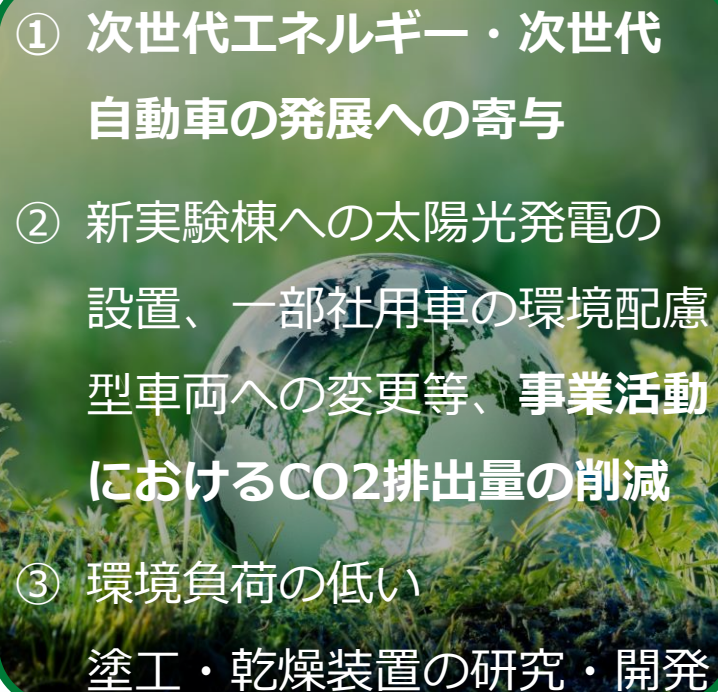
目標ROEと株主資本コスト



当社の事業領域、特に中期経営計画で志向している領域はESGのそれぞれとも関係が深いと認識
これまで以上に環境負荷や所属社会との連携、ガバナンス・資本効率の強化に向けて取り組む計画

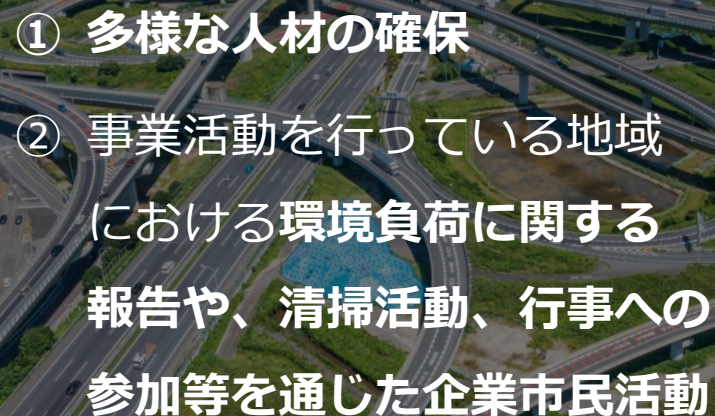
環境 Environment

CO2排出量を筆頭とする 環境負荷の低減への寄与

- 
- ① 次世代エネルギー・次世代自動車の発展への寄与
 - ② 新実験棟への太陽光発電の設置、一部社用車の環境配慮型車両への変更等、事業活動におけるCO2排出量の削減
 - ③ 環境負荷の低い塗工・乾燥装置の研究・開発

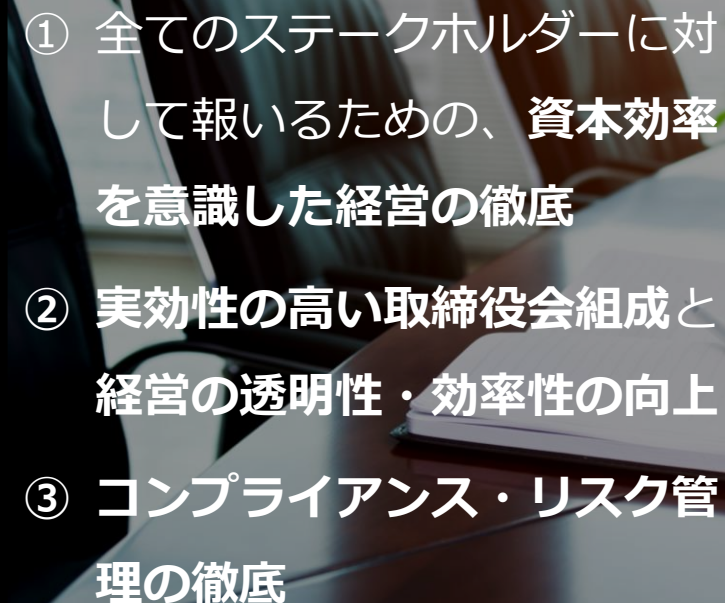
社会 Social

地域社会との共生と 持続可能な発展

- 
- ① 多様な人材の確保
 - ② 事業活動を行っている地域における環境負荷に関する報告や、清掃活動、行事への参加等を通じた企業市民活動

ガバナンス Governance

社会の公器として求められる コーポレートガバナンスの実現

- 
- ① 全てのステークホルダーに対して報いるための、資本効率を意識した経営の徹底
 - ② 実効性の高い取締役会組成と経営の透明性・効率性の向上
 - ③ コンプライアンス・リスク管理の徹底



Techno Smart

Changing Life with Coating Technology

免責事項

将来予測について

本資料で提供されている情報には、将来の見通しに関する情報が含まれています。これら歴史的事実以外の情報は、当社が属する業界の競争、市場、諸制度に係るリスクや不確実性による影響を受ける可能性があります。その結果、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び推測に基づく見込みは、将来における実際の成果及び業績とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

お問い合わせ先等

本資料の内容に関するお問い合わせにつきましては、下記までお願い申し上げます。

管理統括部 経営企画・IR推進部
TEL 06-6253-7200（代表）